

2024（令和6）年度 日独学生青年リーダー交流事業



【事業概要】

ボランティア活動を行っている日本とドイツの学生の交流を推進することで、高い国際感覚を備えた青少年の育成を図ります。

【研修テーマ】

若者の社会参画

【関係機関】

主催：（日本）文部科学省 （ドイツ）連邦家庭・高齢者・女性・青少年省

実施：（日本）国立青少年教育振興機構 （ドイツ）ベルリン日独センター

【日程】

受入れプログラム：2024（令和6）年8月28日（水）～9月11日（水）

派遣プログラム：2024（令和6）年9月16日（月）～9月30日（月）

【対象者（抜粋）】

- ①日本の国籍を有し、青少年団体等で、リーダーとして継続的にボランティア活動や社会貢献活動を行っている高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院等の学生。
- ②2024年4月1日時点で、16歳以上26歳以下の方。

受入プログラム

●日本受入れ

※台風10号接近により、ホームステイは中止となりました。

日付	内容
8月28日(水)	フランクフルト国際空港 出発
8月29日(木)	関西国際空港 到着 大阪フィールドツアー
8月30日(金)	曾爾（奈良）へ移動 オリエンテーション 日本文化体験（※ホームステイの代替）
8月31日(土)	曾爾青少年自然の家のプログラム体験 （※ホームステイの代替）
9月1日(日)	曾爾青少年自然の家のプログラム体験 （※ホームステイの代替） 歓迎交流会（ホストファミリー）
9月2日(月)	【訪問】 曾爾村立曾爾小中学校 【訪問】 曾爾村学童保育 交流会（曾爾ボランティア）
9月3日(火)	野外炊事体験 曾爾ボランティアとのディスカッション
9月4日(水)	東京へ移動 オリエンテーション
9月5日(木)	【説明】 国立青少年教育振興機構 概要 【講義】 若者の社会参画
9月6日(金)	【訪問】 テーマに関連する団体（終日）
9月7日(土)	日独合宿セミナー 開始 ▶ディスカッション／交流会
9月8日(日)	日独合宿セミナー 終了
9月9日(月)	自主研修
9月10日(火)	学習成果発表会
9月11日(水)	羽田空港 出発 フランクフルト国際空港 到着



ホストファミリーとの交流会の様子



曾爾プログラム体験の様子



日本文化体験（茶道）の様子



学校訪問の様子



曾爾ボランティアとの交流の様子



野外炊事の様子



団体訪問の様子



学習成果発表会の様子



帰国前集合写真

派遣プログラム

●事前研修会

日付	内容
7月20日(土) @オンライン	事業概要説明 講義①「ドイツを知る」 講義②「日本における若者の社会参画」 渡航に関する説明 過年度参加者の体験談 団ミーティング



事前研修会の様子

●合宿セミナー（受入プログラム共通）

日付	内容
9月7日(土) ～ 9月8日(日) @東京	ディスカッション（若者の社会参画） ▶日独の共通点、相違点、背景 など 個人発表会 歓迎交流会



ディスカッションの様子



ドイツ団からのプレゼント

●ドイツ派遣

日付	内容
9月16日(月)	羽田空港 出発 ベルリン・ブランデンブルク空港 到着
9月17日(火)	【説明】 ベルリン日独センター 概要 【講義】 子ども・若者の社会参画
9月18日(水)	【訪問】 テーマに関連する団体 ベルリン市内 歴史研修
9月19日(木)	【訪問】 テーマに関連する団体
9月20日(金)	日独合宿セミナー 開始 ▶ディスカッション／交流会
9月21日(土)	日独合宿セミナー
9月22日(日)	日独合宿セミナー 終了 ドレスデンへ移動
9月23日(月)	ドレスデン旧市街地 見学 現地ボランティアとのディスカッション
9月24日(火)	【訪問】 テーマに関連する団体
9月25日(水)	・郡管理のボランティア団体
9月26日(木)	・大学内の政治学研究所
9月27日(金)	・民主主義をテーマに活動する団体 等
9月28日(土)	ホームステイ 学習成果発表会
9月29日(日)	ドレスデン空港 出発
9月30日(月)	羽田空港 到着



団体訪問の様子



団体訪問の様子



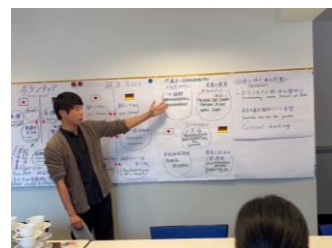
ベルリン市内歴史研修の様子



ホームステイの様子



発表準備の様子

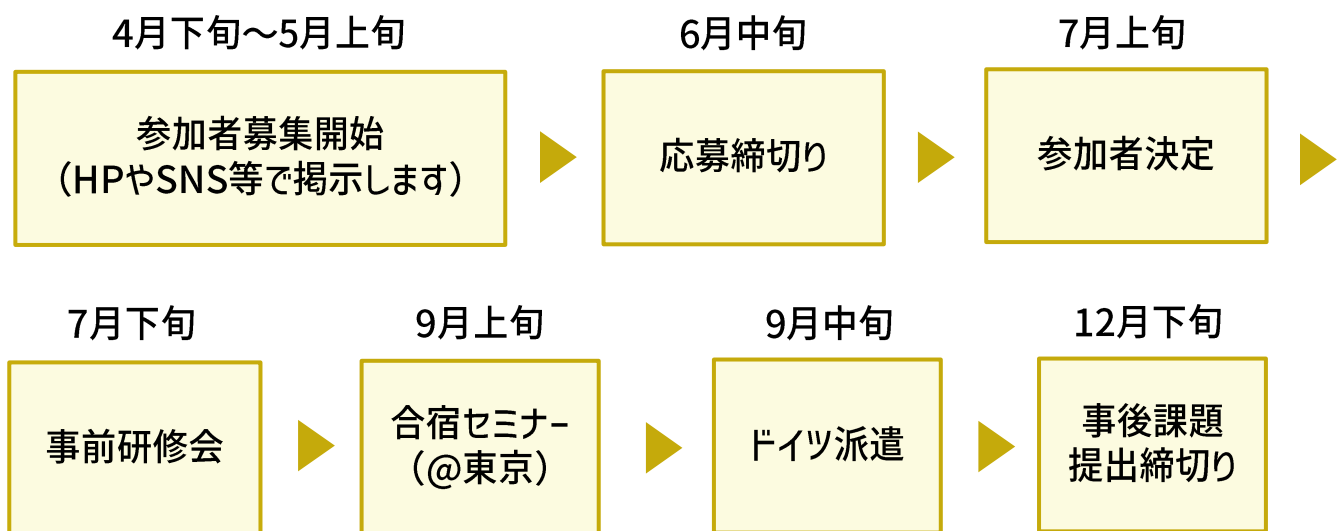


学習成果発表会の様子

■ 参加者の声（日本団）

- ・ 日本にいたるだけでは学ぶことができないようなことが多くあった。日本とドイツの志高い仲間と出会い、たくさんの学びと刺激を受けることができた。
- ・ 他国の学生と政治や教育について忌憚のない話し合いができたのは、とても貴重な経験であったと感じる。
- ・ 研修中の講義や団体訪問の際に、質疑応答の時間を多く設けてもらったので、自分の疑問を解消することができたのも良かった。
- ・ 自分が将来目指している職業にも、大きな影響を与える研修だった。子どもたちに歴史や政治をどのように教えていくのか、ドイツの例を参考に実践を積みたい。
- ・ 若者が声を上げ、行動することの重要性を学ぶことができた。自身が活動する団体でも、学校や地域で積極的に意見を発信し、同世代の方々にも社会参画の機会を提供する側になりたい。
- ・ 若者の政治への関心が、特に印象に残っています。ドイツの若者と交流する中で、日常会話の中で政治について話したり、誰とでも政治の話をしったりすることを知り、非常に驚いた。なぜドイツの若者は政治に関心があり、なぜ日本の若者は政治に関心がないのかを、この研修をとおして考えることができた。

■ 応募から参加までの流れ



※上記日程は変更となる可能性もございます。

■ お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金部国際・企画課 日独交流事業担当
TEL：03-6407-7725／7756（平日9～17時のみ）
E-mail：honbu-kokusaikikaku@niye.go.jp



国際課HP



国際課
Instagram